

.....
教養研究センターが学部 1・2 年生を対象に
2012 年度 学生論文コンテストを開催
.....

教養研究センター(所長 不破有理) はアカデミック・スキルズ、ピア・メンター制度など、学生の「自ら考え、調べ、論ずること」の力を養成する取り組みをここ数年重点的に実施している。しかしながらその対象はごく一部であり、多くの学生は初年次にレポートの書き方を学ぶことなく、授業でのレポート課題を何となくこなし、論文とは何か、論文と感想文や小論文との違いなども分からないまま専門課程に進んでゆくのが実情である。

そこで、教養研究センターは設立 10 年を記念して、学部 1・2 年生を対象に「学生論文コンテスト」を開催することにした。このコンテストの特長は、単に論文を募集、審査するだけでなく、募集期間中に“論文の書き方のセミナーの開催”、“論文の書き方の推薦図書を紹介”、“学習相談員による論文の書き方の相談”を立体的に行い、書くことの大切さや、学ぶことの面白さを啓蒙するためのキャンペーンとして実施するところにある。学生の自主性を前提とした学びの場を創り、意欲ある学生を育てることへの新たな試みでもある。

従って、出来るだけ多くの学生が関心を持ち、参加してくれることが成功への鍵であり、このキャンペーンの周知および学生の参加促進について関係各機関・部門のご協力をお願いしたい。コンテストの概要は以下のとおり。

名称 教養研究センター主催 2012 年度 学生論文コンテスト

応募資格 慶應義塾大学 学部在籍中の 1 年生・2 年生

テーマ 「変 / 不変」

- A 「社会」部門：社会事象を対象とした「問い」を設定し、論じてください。
B 「文化」部門：広義の文化事象を対象とした「問い」を設定し、論じてください。
(歴史・芸術・思想・言語などを含みます)

字数 8000 字程度 (日本語)

賞 最優秀賞【部門別】 各 1 名 (賞状 および 賞金 20 万円)
優秀賞 若干名 (賞状 および 賞金 5 万円)

応募方法

事前登録の受付期間： 2012年 7月10日(火)～**8月10日(金)**

応募する場合は事前登録が必要です。期日内に教養研究センターのホームページ
<http://lib-arts.hc.keio.ac.jp/> からおこなってください。

論文提出の受付期間： 2012年 11月1日(木)～**11月30日(金)必着**

提出に関する詳細は事前登録者に案内(9月の予定)

発表 2013年1月中旬を予定。

連動企画

論文の書き方のセミナー 7月5日と10月中旬に日吉にて開催予定。

論文の書き方の推薦図書 教養研究センターのホームページで紹介予定

論文の書き方の相談

日吉メディアセンター (1階): レファレンスデスクの学習相談員へ

湘南藤沢メディアセンター(2階): ライティング&リサーチコンサルタントへ

主催・協賛・後援

主催：慶應義塾大学教養研究センター

協賛：富士ゼロックス株式会社、慶應義塾大学出版会株式会社

後援：株式会社紀伊國屋書店、慶應義塾大学日吉メディアセンター、慶應義塾生活協同組合

問い合わせ先

教養研究センター 学生論文コンテスト担当

e-mail: toiawase-lib@adst.keio.ac.jp

URL: <http://lib-arts.hc.keio.ac.jp/>

“教養研究センター”で

【補足説明】

アカデミック・スキルズ

教養研究センターの設置科目の一つで、論文・レポートを作成する上で必要な主題の立て方、文献検索の仕方、論の構成といった基本的な事柄やプレゼンテーションの手法を習得するための授業です。この授業は技法の習得である以上に、文学、芸術、社会現象を読み解くための創造的で論理的な思考を深め、ひいては真の人間理解を目指しているものです。この授業の紹介映像をYouTubeに公開していますので“こういう授業があった”で検索してみてください。

ピア・メンター制度

問題を発見し、客観的に考察し、合理的な結論を導き出し、説得力のある論を展開する レポート作成は、大学に入った学生の多くがぶつかる壁です。アカデミック・スキルズの修了生たちはメディアセンター内で学習相談アワーを行い、同じ壁を乗り越えてきた先輩として悩み迷える学生の切実な相談に親身に対応しています。アドバイスをする中で、相談員自身も自分自身を顧み、より深化した知を追求するきっかけを得られています。学生同士の間にも自律的な知の連関を構築する試みです。